

《トピック》 審査会の全国講演会

当審査会は、発足以来、審査会の活動等について理解を深めていただくために、会長・常勤委員を中心に、全国の大学等で講演会を行っています。過去3年間の実績は、平成20年度12件、平成21年度17件、平成22年度は6件でした。平成23年度も7月までに6件の講演会を行う予定です。

講演テーマは、審査会の活動に関連して、公認会計士の使命や公認会計士試験制度などが中心となりますが、最近では、公認会計士の役割期待の深化と拡大に関する話題が増えています。

グローバル化が進展する資本市場の公正性・透明性を高めるために、監査品質の確保・向上は国際的に非常に重要な課題となっています。監査人としての公認会計士に期待される役割は質量共にますます高まっています。しかし、公認会計士が担うべき役割は、法定監査人としての役割だけではありません。会計プロフェッショナル、職業会計士として、公認会計士はより広範な役割を果たすことが期待されています。

平成22年7月30日開催の「公認会計士制度に関する懇談会（第9回）」中間報告書では、平成15年の公認会計士法改正の背景にあった「公認会計士が監査業界のみならず、企業の財務・経理部門など幅広い分野で活躍することが期待されている」との考え方を確認すると共に、「海外のアカウティングファームは多様な非監査サービスの充実に向けて、経営資源の戦略的投入と人材育成を進めている。さらに、監査・会計をめぐる国際的な基準の協調・統合作業も進展している。他方、企業においても海外事業の拡大等に伴い、企業内の会計実務も急速に国際化・高度化している。このようなグローバル化等の環境変化に対応するため、我が国の成長と国際競争力強化を支える存在として、国内外で幅広く活躍できる監査・会計分野の専門家を育成することが急務である」ことを指摘しています。公認会計士・監査審査会および金融庁作成のパンフレット「公認会計士試験にチャレンジしてみませんか」でも、近年は経済界でも会計専門家の育成・確保に熱心な企業も増えているので、できるだけ早い時期から受験勉強を開始して、在学中の段階で、監査業界のみならず経済界も含めた幅広い選択肢の中から、状況に応じて柔軟にキャリアパスを考えることが重要である旨のメッセージを伝えています。

公認会計士は、そもそも、監査の専門家、会計の専門家として、国民経済の健全な発展に寄与することを使命としており、公認会計士には広く会計の専門家として活躍することが期待されています。会計は、市場経済の円滑な運営と企業のより良い経営のために不可欠な情報システムであり、経済・経営のグローバル化が進展する現代、その重要性はいよいよ高まっています。公認会計士は、そうした広義の会計の専門家として、国民経済の健全な発展に寄与する使命を国家から託されています。

平成 23 年 3 月

公認会計士・監査審査会常勤委員

廣本 敏郎